

科目番号	5	科目名	環境問題を学ぶ	
英 文 科 目 名	Environmental Problems			
大学・短期大学名	滋賀		大学	
連 絡 先	滋賀大学学務課総務係			
	TEL :	0749-27-1017	FAX :	0749-24-5122
担 当 教 員	中野桂 他2名 (経 済 学 部 教 授)			
教 室 名	オンデマンド(一部ライブ配信)	会場	彦根キャンパス	
授 業 期 間	2021 年 10 月 7 日 (木) ~ 2022 年 1 月 20 日 (木) <毎週 木曜日> 2 時限・講時 10 : 30 ~ 12 : 0			
超過時の選考方法	書類により選考			
成績評価方法	定期試験 (筆 記)	【中野教員】 毎回の講義の後にSULMSの「小テスト」機能によって出される課題の評価の合計とする。		
	レポート試験 (期 末)	【松下教員】 終了後にSULMSの「課題」機能で出されるレポートの評価とする。		
	平常点 (出 席 ・ 授 業 態 度)	【和田教員】 筆記試験の結果のみに基づいて成績評価を行う。なお、その方法については、大学の方針や社会情勢に鑑みて、		
	そ の 他 ()	対面式または遠隔(オンライン)式かを判断する。		
別途負担費用	なし		あり()円	
その他特記事項	環境問題を取り巻く社会状況は時々刻々と変化する。そのため、適宜、新聞やメディアを通じて時事に通じておくよう努めることが望ましい。			
<講義概要・到達目標>				
【授業の目的と概要】 本講義では、「経済と環境問題」や「環境の経済評価」などのテーマをもとに、環境問題について様々な観点から検討します。講義は3名の教員によるリレー講義形式で行われます。様々な観点から、総合的に環境を捉える力を養成します。 なお、今学期については、授業はオンデマンドで行います。一部授業については、ライブ配信(内容は事後的にオンデマンドで視聴いただけます)となります。				
【授業の到達目標】 様々な観点から、環境問題を考察するための基礎知識や基礎力を習得する。				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	10月7日	【松下教員】 環境と経済の両立可能性 持続可能な発展 気候変動問題 日本のエネルギー政策		
2	10月14日			
3	10月21日			
4	10月28日			
5	11月4日			
6	11月11日	【和田教員】 環境問題に対する経済学からの視点 生物多様性問題(ケース・スタディとしての外来魚問題) 里山・里川の持つ効能 滋賀県内の環境保全活動のケース・スタディ(高島市針江地区の川端保全活動)		
7	11月18日			
8	11月25日			
9	12月2日			
10	12月9日			

11	12月16日	【中野教員】 環境と経済(経世済民、静脈経済、GPIなど) 琵琶湖と環境 原発問題 新エネルギーの未来
12	12月23日	
13	1月6日	
14	1月13日	
15	1月20日	
<教科書・参考書>		
【教科書】 特になし		
【参考書】 参考書1 ISBN 9784772603232 書名 エコロジカル・フットプリント：地球環境持続のための実践プランニング・ツール 著者名 マティース・ワケナゲル, ウィリアム・リース著；池田真里訳, Wackernagel, Mathis, Rees, William E., 和田, 喜彦, 池田, 真里 出版社 合同出版 出版年 2004		
参考書2 ISBN 9784865792140 書名 気候変動時代における私たちの役割 著者名 環境省編, 環境省 出版社 日経印刷		
※教材等は特に指定しないが、各担当者の講義の中で参考文献等を指示する。		